

令和6年度 学校評価結果の報告

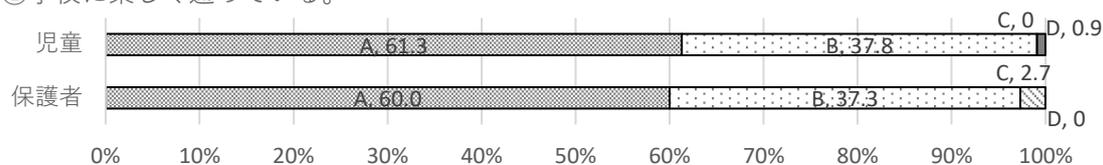
四国中央市立上分小学校

1 教職員自己評価（数値結果）評価項目と4段階評価結果

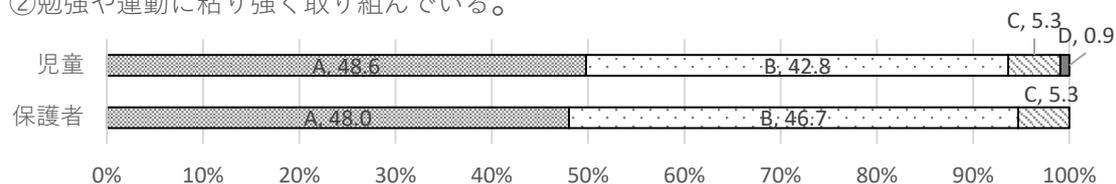
		1学期	2学期
1	学校の教育目標・児童像の具現化（心豊かにたくましく生きる・えがおいきいきかがやく子）	3.6	3.7
2	確かな学力の定着（ユニバーサルデザイン・環境・基本的な学習指導など）	3.2	3.2
3	温かい学級づくり・児童理解（自他の良さが分かる・自他を大切に・共通理解・連携）	3.3	3.5
4	学校安全（安全点検・廊下歩行・登下校など）	3.1	2.9
5	児童会活動・なかよし班活動の充実（活動内容や児童の主体性・集会や遊び・委員会）	3.6	3.6
6	教育課程の編成（つどい・校時表・行事・月行事・朝の時間・清掃など）	3.5	3.5
7	家庭や地域との連携・融合（早寝早起き朝ごはん・家庭学習・音読カード・参観日・PTA活動など）	3.7	3.5
8	特別支援教育の充実（研修内容・施設・学習内容）	3.4	3.5
9	道徳教育（年間計画・授業改善・教育活動との連携）	3.3	3.3
10	心を育て、実践力を培う人権・同和教育（研修内容・チャンス研・児童の育ち）	3.4	3.6
11	体育的な行事（教科学習・児童の遊び）	3.5	3.5
12	保健学習の充実（保健指導・清潔検査・歯みがき指導・家庭との連携）	3.5	3.5
13	総合的な学習の取組・外国語活動（年間計画・児童主体の活動）	3.5	3.4
14	教職員の資質能力の向上（校務・研修・組織）	3.4	3.4
15	業務改善に関する取組	2.7	3.3

2 児童と保護者による評価結果

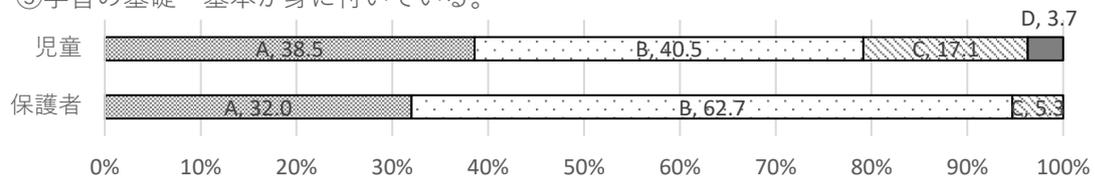
①学校に楽しく通っている。



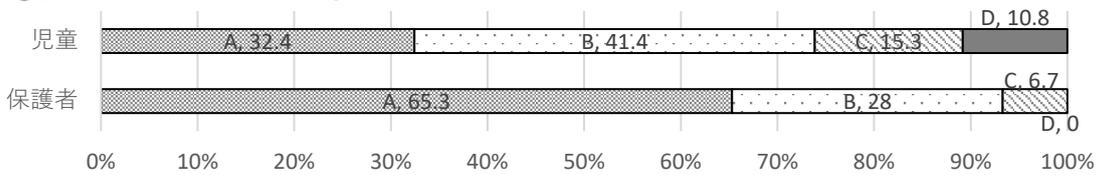
②勉強や運動に粘り強く取り組んでいる。



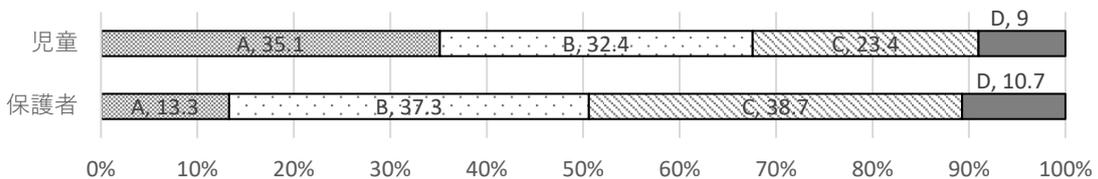
③学習の基礎・基本が身に付いている。



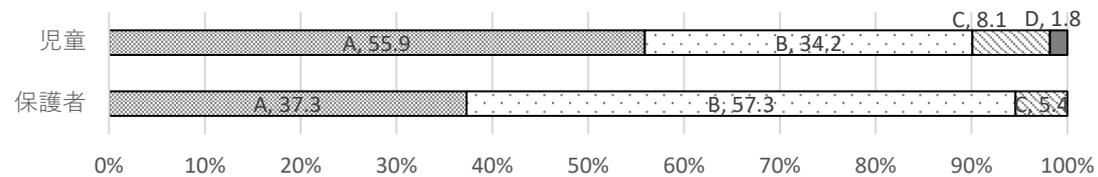
④宿題を忘れずにしている。



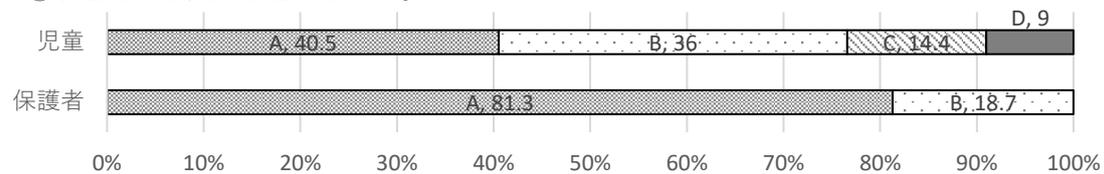
⑤本に興味を持って読書をしている。



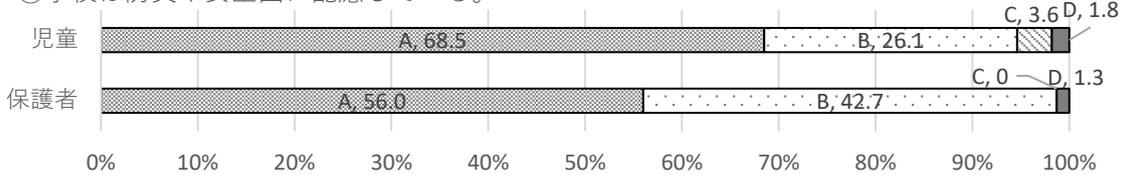
⑥いろいろな約束事を守っている。



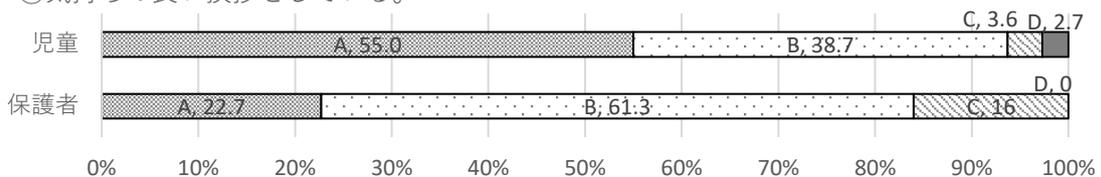
⑦子どもには良いところがある。



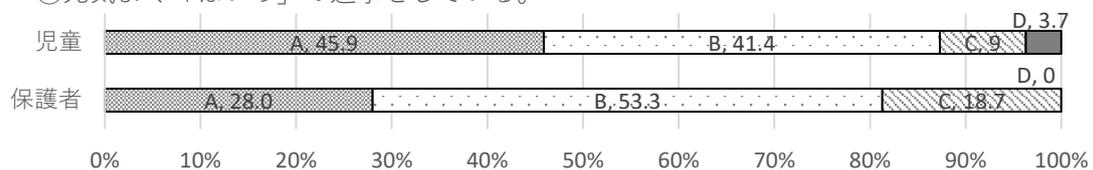
⑧学校は防災や安全面に配慮している。



⑨気持ちの良い挨拶をしている。

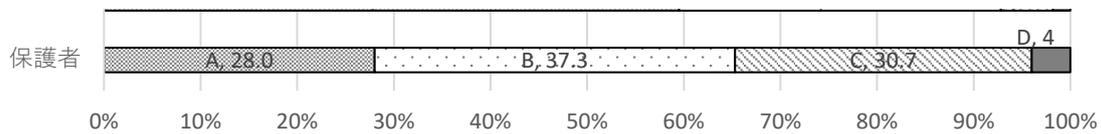


⑩元気よく「はいっ」の返事をしている。

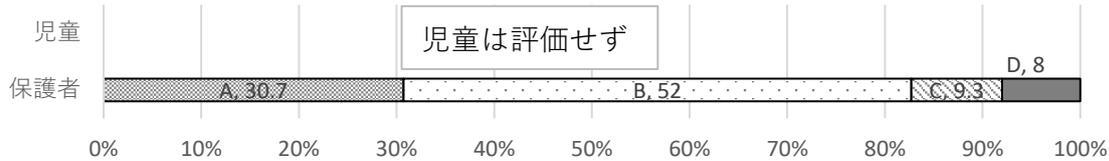


⑪靴やスリッパをそろえている。

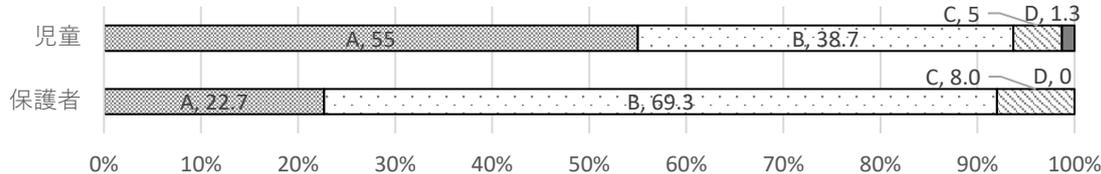




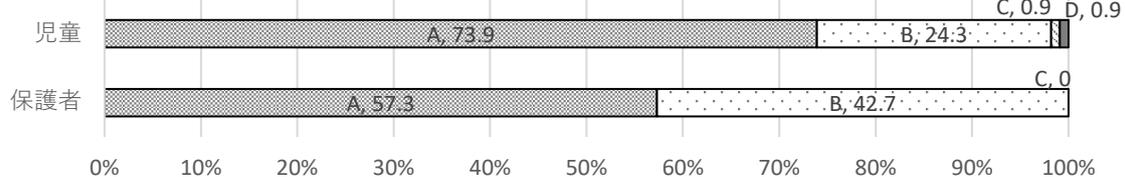
⑫ P T A 活動に積極的に参加している。



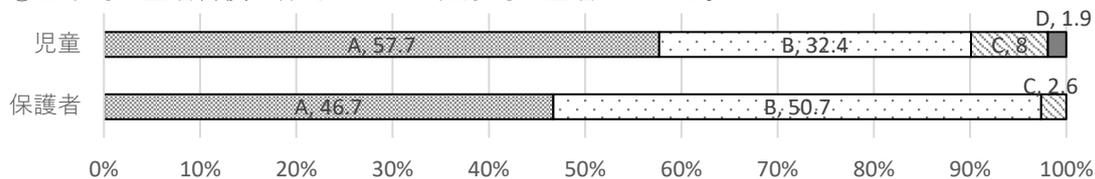
⑬ 子どもは相手を大切に言葉遣いをしている。



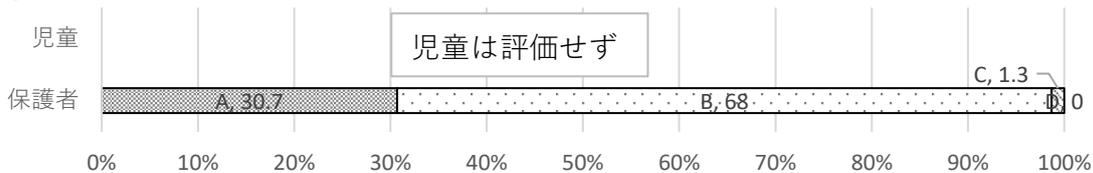
⑭ みんなと仲良くしている。



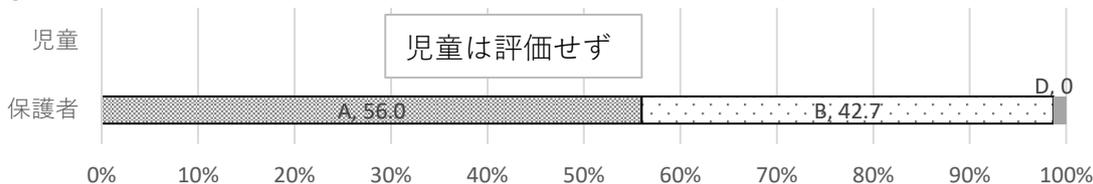
⑮ 基本的な生活習慣や体力づくりで健康的に生活している。



⑯ いじめの防止や早期発見に努めている。



⑰ 学校からの便りやホームページを見て学校の様子を知っている。



3 考察

- ・「学校に楽しく通っている」と感じられている児童や保護者が多く、勉強や運動にも粘り強く取り組んでいる。家庭学習等に関する課題は、日々の学習の積み上げを丁寧にすることで基礎的な力の定着に繋がりたい。読書についても、時間の設定や称揚で意識づけを続ける。
- ・児童・保護者ともに友達関係への満足感が高い。自分に良いところがあると答えられなかった児童が数名いるので、意図的にお互いの良さを認め合えるような場や時間を設定していきたい。

4 学校運営協議会による評価結果

(1) 学校運営協議会委員の構成

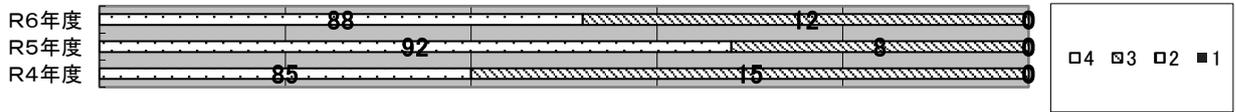
上分公民館長、人権擁護委員、地域コーディネーター、元PTA会長、上分壮年会長、上分婦人会長、地区社会福祉協議会長、上分地区民生児童委員協議会長、愛護班連絡協議会長、川之江南中学校長、上分保育園長、校長など 合計18名

(2) 記入年月日 令和7年2月19日

学校関係者評価結果（四国中央市共通項目）

4 とても当てはまる 3 どちらかといえば当てはまる 2 どちらかといえが当てはまる 1 全く当てはまらない

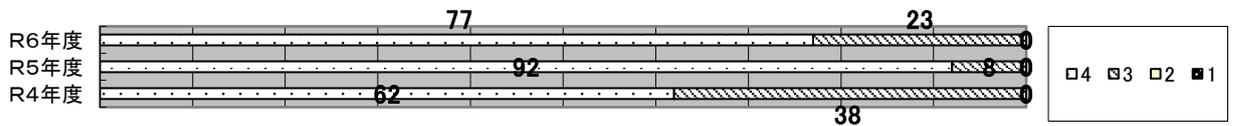
1 学校の教育目標に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。



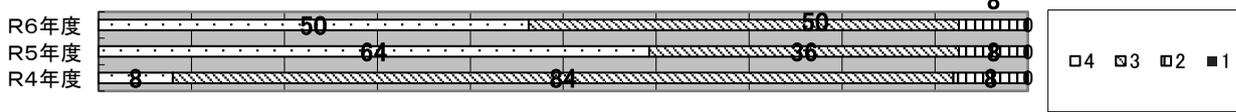
2 自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。



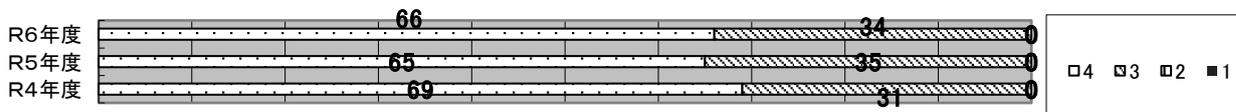
3 教育活動や評価結果に関して、分かりやすく情報が提供できているか。



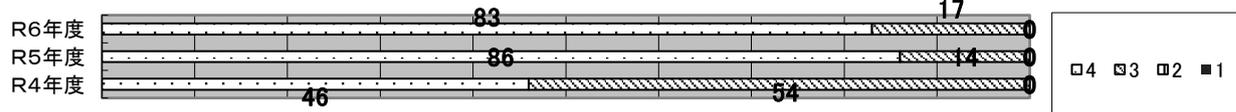
4 保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。



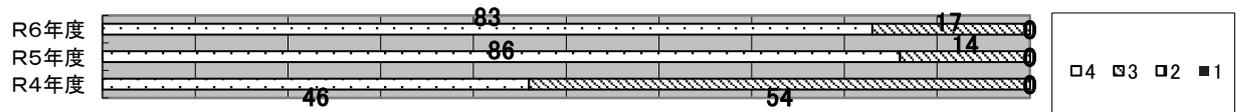
5 学校運営協議会は、適切に運営されているか。



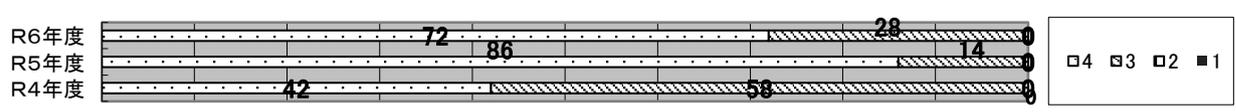
6 子どもたちにとって充実した楽しい学校になっているか。



7 教師は熱心に指導し、児童や保護者の相談によくのっているか。



8 危機管理の徹底や施設設備の整備など児童の安全に配慮した教育活動を行っているか。



【考察】

- ・150周年記念事業に向けて実行委員会を立ち上げ、学校運営協議会委員の方にも参加していただくことで、連携体制がより密になり、学校、家庭、地域が一体となり、歩みを進めることができた。
- ・教育目標を具現化した「いのちを大切にす。輝かせる。」に向かって、全教職員で取り組んだ。「大切にしたいあいうえお」を、活動や授業の中で意識できた。
- ・児童の情報交換を密に行い、配慮事項や児童の変化などの全教職員の共通理解の基、児童に関わることで、ほとんどの児童が「学校が楽しい」と感じており、充実した学校生活を送ることができた。
- ・保護者の各種行事等への能動的な参加については、更に声掛けや保護者間の関係づくりが必要である。

【具体的改善策等の提言】

- ・児童が「学校に楽しく通っている」の質問に肯定的回答がほぼ100パーセントで、たいへんすばらしく、学校がうまくいっていると感じた。
- ・なお一層教職員一人一人の共通理解を図り、ますます「いのち輝く、笑顔輝く」学校となることを願っている。若い教員の成長を感じた。
- ・学校からの呼び掛けで、更に地域の人たちも各活動に参加しやすくなると感じた。

|

|